

科目名		授業形態		担当教員名	
医療安全管理学演習		演習		阪本 壮志・宮下 久美子・南 正雄	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回		2 年次	後期
授業の目的・概要					
手洗い演習をすることで感染症対策を実演する。また、輸液ポンプ管理を行い、安全管理について座学で学んだ知識を応用する。実際に漏れ電流測定ボックスの作製・校正・測定・解析を通して、医療機器の電氣的安全について認識を深める。					
授業の到達目標					
演習を通して、各種医療機器の電氣的安全保守点検方法を修得し、安全管理について理解を深める。					
授業計画					
回	内容				
1	前半オリエンテーション(1) 輸液ポンプ管理		16	漏れ電流測定BOX(3) 製図清書	
2	前半オリエンテーション(2) 感染症対策		17	漏れ電流測定BOX(4) (穴あけ・はめ込み)	
3	感染症対策(1) 培地作製		18		
4	感染症対策(2) 手洗い演習		19	漏れ電流測定BOX(5) はんだづけ	
5	感染症対策(3) 検鏡		20		
6	感染症対策(4) スケッチ		21	漏れ電流測定BOX(6) (キャリブレーション・補正)	
7	輸液ポンプ管理(1) 流量精度		22		
8	輸液ポンプ管理(2) 閉塞圧		23	漏れ電流測定(1) 手順書作成	
9	輸液ポンプ管理(3) データ解析		24		
10			25	漏れ電流測定(2) 医用治療機器	
11	後半オリエンテーション(漏れ電流測定BOX)		26		
12			27	漏れ電流測定(3) 生体代行装置	
13	漏れ電流測定BOX(1) 回路分析		28		
14			29	漏れ電流測定(4) 実技試験	
15	漏れ電流測定BOX(2) 製図下書き		30		
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
筆記試験					
レポート・課題	50%	感染症対策と輸液ポンプ管理のレポートの内容を評価する。			
小テスト	25%	毎回の演習開始時に実施する。			
平常点					
その他	25%	漏れ電流測定(実技試験)を評価する。			
自由記載					
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
なし					
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
自由記載					
備考					